



■ 第1回人権啓発協力員研修 ■ 5/18



『ふたたび被爆者をつくらないために！』

— 被爆者の実相と核兵器廃絶運動 —

講師 鳥取県原爆被害者協議会
理事・事務局長 石川 行弘 さん



—お話より—

差別の原因は事実を知らないこと（無知）
差別を抑制するのは正しい事を知ること（知性）
事実を知ることが差別をなくすための
活力になります。

核兵器の怖さ、人体や自然に及ぼす影響、核実験、核廃絶の世界的な動向についてお聴きした。また、被爆者や震災後の被災者への差別、偏見、風評被害について「無知が差別を生む、事実を知ることが知ることが差別をなくす」と言われ、正しい知識を学習する大切さを感じた。



〈参加者感想〉

- 被爆者差別があったという現実はとても悲しく残念なことだと思った。偏見や先入観で判断するのではなく正しい知識を得て考えることが大切と感じた。
- この講演で原爆の怖さを知った。被爆体験者が少なくなっていく中、人々の関心も薄れていくので語り継ぐことが必要。
- 核兵器や世の中の流れにも関心をもって生活しなければと感じた。

